15:00～

インフルエンザの大流行は起こるのか？

西浦博

東京大学
医学系研究科
国際保健政策学分野
准教授

理論疫学分野の若手旗手
2007年第24回（平成19年度）井上研究奨励賞、2011年12月公益信託武見記念生存科学研究基金武見奨励賞など、受賞多数

<講演概要>
　未知の伝染病の流行が発生したとき、「流行がどれくらい重大なのか（例：パンデミックに発展するのか）」や「流行を抑制するために何ができるのか」といった点について明らかにすることが専門家に求められます。それらに対応するには、感染性（感染力）や感染時の重症化リスクをはじめ感染動態の詳細を観察データを基に推定することが必要です。感染症の数理モデルはこれらの現実的課題に対処するための最も重要な理論的根拠と分析手段を提供します。インフルエンザをはじめとする事例を通じて数理モデルの現場貢献をご紹介します。

現代社会の抱える問題

明治大学現象数理学研究拠点キックオフフォーラム

― 現象数理学の挑戦 ―

16:00～

金融市場は 安定か? 不安定か?
― 経済物理学からの答え ―

高安秀樹

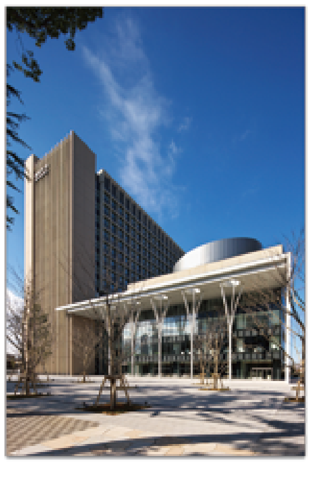
ソニーコンピュータサイエンス研究所
シニアリサーチャー
明治大学 大学院先端数理科学研究科
客員教授

経済物理学の世界的権威者
「エコノフィジックス：市場に潜む物理法則」、「経済物理学の発見」など著書多数

<講演概要>
　1980年代のフラクタルの研究のブームの中から誕生した経済物理学という学問分野では、10年以上前からビッグデータ解析を推進し、経済学の常識を覆すような発見があいついで報告されています。例えば、市場価格の変動にはランダムとしか見えないような変動の他に、市場のポテンシャル力が働いて暴騰や暴落が起こることがわかってきています。本講演では経済物理学の誕生から応用までをわかりやすい事例を通して紹介します。

明治大学 先端数理科学インスティテュート

中野キャンパス
市民講演会



日時：2013年6月22日（土）
15:00 ― 17:00（開場 14:30）
会場：明治大学 中野キャンパス
5階ホール 入場無料

【定員】300名（先着順）
事前申し込み不要
どなたでも自由にご参加いただけます。
お気軽にお越しください。

主催：明治大学先端数理科学インスティテュート
後援：中野区
協賛：日本数学会
　　　日本応用数理学会

【お問い合わせ先】
現象数理学研究拠点キックオフフォーラム開催事務局
明治大学 先端数理科学インスティテュート(MIMS)
〒164-8525 東京都中野区中野4-21-1 高層棟8階
Tel: 03-5343-8067
E-mail: mims@mics.meiji.ac.jp

中野区役所広報担当調整済　2013年6月24日

© Meiji University, All rights reserved.